

## 神戸赤十字病院がJCEP(臨床研修病院第三者評価)を受審!

医師臨床研修制度はあまり知られておりませんが、医師法第16条に基づき行われております。臨床研修の2年間は、医師としてだけでなく社会人としての第一歩であり、重要な期間です。神戸赤十字病院は臨床研修指定病院に指定され、毎年6名ずつ、計14名の研修医(神戸大学から2名含む)を受け入れており、学生実習、初期臨床研修、専攻医の専門医研修と、重要な教育的役割を担っています。研修をより充実したものとするため、当院は1月31日にJCEPという臨床研修病院の第三者評価を受審しました。

昨年6月にJCEP受審に向け、プログラム責任者の土井副院長をはじめとする医師中心のワーキンググループを立ち上げ、院内の多くの部署と一緒に改善活動を行いました。

こうした取り組みにより、厚生労働省の定めに対する見直しのみならず、より良い研修となる体制を整えることができました。今後も、研修医が2年間研修して良かったと思える病院づくりを続けたいと思います。



審査当日の土井副院長



研修医に加え多職種合同で審査を受けました

## 姫路赤十字看護専門学校:患者さんのためにスキルアップを目指して

姫路赤十字看護専門学校の学生は、さまざまな演習をしながら看護技術が習得できるよう頑張っています。

1年生は、初めて患者さんを受けもつ基礎看護学実習Ⅱの前に、模擬患者さんを招いて、コミュニケーションをとりながら観察をする技術を学んでいます。この演習の学びを活かし、積極的に臨地実習に取り組むことができました。

2年生の母性看護学の授業では、新生児の沐浴や更衣の演習をしています。初めての沐浴で緊張していましたが、優しく赤ちゃんに接することができるように練習を積み重ねています。ほかにも、診療の補助や在宅看護に関する演習などにも取り組んでいます。

看護技術はまだ未熟な部分もありますが、これからの実習で患者さんに信頼される技術が提供できるよう頑張っていることを期待しています。

### 1年生:模擬患者演習



対話しながら観察中



血圧測定中

### 2年生:沐浴演習



## 姫路赤十字病院「健康増進講座(出前講座)」を開始しました!

姫路赤十字病院では、地域医療支援病院として地域の住民の方々に医療を身近に感じてもらう疾病予防、健康増進に向けた医療の情報を提供するため、この度「健康増進講座(出前講座)」を開始しました。

自治会、企業、学校などに出向き、地域の皆さんに医療講座を開催します。

ご興味のある団体様はぜひ当院までご連絡いただければと思います!

(連絡先:姫路赤十字病院 総務課 TEL.079-294-2251)



- 対象 各種団体(自治会、老人会、婦人会、PTA等)、事業所を有する企業、学校等の10名以上の団体様
- 開催日時 原則、月曜日から金曜日の午前9時00分から午後5時00分まで(土曜日、日曜日、祝日、午後5時00分以降の開催については、別途ご相談下さい。)
- 会場について 会場は原則、姫路市、太子町、たつの市、宍粟市内とさせていただきます。
- 費用 無料です。

### 講習会のご案内 対面での講習会のご案内

救急法基礎講習(1日の講習)	4月29日(火・祝) 13:00~17:30 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階 5月31日(土) 10:30~16:00 会場:日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センター(三木市)
救急法救急員養成講習(2日間の講習)	5月17日(土)・18日(日) 9:30~17:30 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階
救急法基礎・救急員養成講習(3日間の講習)	5月3日(土・祝)・4日(日・祝)・5日(月・祝) 9:30~17:30(初日は13:00~17:30) 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階
水上安全法救助員I養成講習(4日間の講習)	5月6日(火・休)基礎9:00~14:30 養成15:00~17:00 5月17日(土)・18日(日)・24日(土) 9:00~17:00(最終日は9:00~14:00) 会場:1日目 日本赤十字社兵庫県支部7階 2~4日目 ポートアイランドスポーツセンター
幼児安全法支援員養成講習(2日間の講習)	5月10日(土)・11日(日) 9:30~17:00 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階
健康生活支援講習支援員養成講習(2日間の講習)	4月12日(土)・13日(日) 9:30~16:00 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階

※申込期日は開催日(初日)の1ヵ月前までです。

### オンラインで学べる赤十字講習会のご案内

講習内容	開催日	時間
【救急法】あなたは大切な人を救えますか?(一次救命処置)	4月17日(木)	10:30~11:30
【幼児安全法】こどもの看病手当のしかた☆ <b>NEW</b>	4月17日(木)	14:00~15:00
【幼児安全法】こどもにAEDって使えるの?(乳幼児の一次救命処置)	5月22日(木)	10:30~11:30
【防災セミナー】災害への備え(大雨・土砂災害編)☆	5月22日(木)	14:00~15:00

☆印の講習は講義のみです。それ以外は実技を含みます。企業や各種団体でもオンライン講習にお申込みいただけます。上記日程以外でも開催することができますので、当支部救護課講習係にご連絡いただき、社内研修等でご活用ください。

講習についての最新情報は、ホームページにて随時発信しています。ホームページにてご確認いただくかお電話にてお問い合わせください。

講習に関するお問い合わせ	Tel.078-241-1499
ホームページ(講習のページ)	<a href="https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/">https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/</a>

※隔月(奇数月)に発行しています。



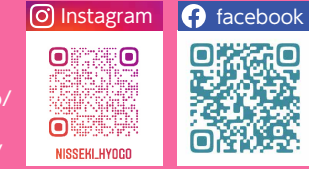
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号 TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990

赤十字 兵庫 検索 <https://www.hyogo.jrc.or.jp/>

# ひょうごの赤十字+

2025  
3

- ホームページ <https://www.hyogo.jrc.or.jp/>
- インスタグラム [https://www.instagram.com/nisseki\\_hyogo/](https://www.instagram.com/nisseki_hyogo/)
- Facebook <https://www.facebook.com/nisseki.hyogo/>



いのちと健康を守る活動へのご協力に感謝いたします。



- NHK海外たすけあいキャンペーンのご報告
- ~阪神・淡路大震災から30年の節目~1.17ひょうご安全の日つどいに参加
- 令和6年度第2回赤十字防災ボランティア実践研修会を開催
- 令和6年度兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会例会(第3学期)を開催
- 令和6年度災害救援車引渡式も開催
- 令和6年度第2回評議員会を開催
- 神戸赤十字病院がJCEP(臨床研修病院第三者評価)を受審!
- 姫路赤十字看護専門学校:患者さんのためにスキルアップを目指して

EXPO 2025 大阪・関西万博に出展します



国際赤十字・赤新月社運動館

### 遺言・相続財産・お香典でのご協力について

「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出が増えています。日本赤十字社では、このような尊いご意思に応えるために、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等のご寄付を承っております。

お問い合わせは ☎0120-078-456(振興課)まで

## 「NHK海外たすけあい」へのご協力ありがとうございました！

12月1日から25日まで「NHK海外たすけあい」キャンペーンを実施し、兵庫県赤十字奉仕団や兵庫県日赤有功会の皆さまをはじめ、青少年赤十字加盟校やNHK神戸放送局窓口などからもたくさんのご協力をいただきました。

12月25日には、兵庫県赤十字奉仕団が集めた募金を谷勝公代委員長より山下副支部長へ手渡され、山下副支部長からは感謝状が贈呈されました。

ご協力いただいた募金は、日本赤十字社が実施している国際活動に使わせていただきます。



兵庫県支部の実績額 5,967,050円

## 国際派遣職員の出発式が行われました！

1月10日に神戸赤十字病院にて、バングラデシュ人民共和国に派遣される上谷真由美看護師の出発式が行われました。

バングラデシュ南部のコックスバザールにはミャンマーのラカイン州から避難された人々が生活しており、日本赤十字社では、平成29年の避難民大規模流入の直後から、現地の赤新月社と協力して保健医療サービス支援と、地域に根差した健康改善支援活動と救急法の支援（CBHFA）を行っております。

派遣期間は令和7年1月12日から同年2月18日までで、現地での避難民の健康に関する情報を収集し、対象地域の状況を把握・分析することにより、同年4月以降の日赤の計画立案や、今後のCBHFA活動全体の計画・方針に役立てることを目的としています。

生安事務局長からは「これまで培ってこられた知識と経験、情熱で、避難されている方々に寄り添う支援に取り組んでいただきたい」、山下院長からは「日赤の使命である『人間のいのちと健康、尊厳を守る』ことの達成のために頑張ってください」、松本看護部長からは「国際活動に携わるため、日々の業務に取り組み、研鑽に励んでこられた成果を出してください」と激励の言葉が贈られました。

上谷看護師は「初めての派遣のため、不安もありますが、避難されている方々の力になれるよう活動してまいります。病院の皆さんに温かく送り出してくださいで大変嬉しく思います」と意気込みや感謝を述べられました。



出発式で決意を述べる上谷看護師



令和5年9月バングラデシュ南部避難民キャンプの様子

## ～阪神・淡路大震災から30年の節目～1.17ひょうご安全の日のつどいに参加

1月17日、神戸市中央区のHAT神戸で「ひょうご安全の日」のつどいが開催されました。兵庫県支部は、庁舎1階で阪神・淡路大震災に関するパネルや救護資機材の展示のほか、メモリアルウォーク参加者にみそ汁の提供を行いました。参加者のなかには、展示したパネルなどを見ながら、震災当時のことを思い出し、語り合う姿が見受けられました。

また、なぎさ公園においては、地域赤十字奉仕団による炊き出しとともに、大型エアテントを設置し救急法講習を実施しました。

炊き出しでは500食を用意しましたが、多くの方が列を作り、あっという間になくなるなど大変好評でした。

救急法講習では近隣の中高校生が参加し、多くの生徒が初めてふれる講習人形やAEDトレーナーに苦勞していましたが、救急法指導員からのアドバイスを受け、一生懸命に取り組んでいました。

阪神・淡路大震災から30年が経過しましたが、これからも「忘れない」「伝える」「活かす」「備える」「繋ぐ」を意識し、震災の教訓や経験を未来に継承していきます。



## 令和6年度第2回赤十字防災ボランティア実践研修会を開催

2月8日、令和6年度第2回赤十字防災ボランティア実践研修会を開催し、特別赤十字奉仕団員、個人登録の防災ボランティア18名が参加しました。

午前中は「救護資機材（エアテント）設営」「大釜を使った炊き出し」を行い、午後からは「被災地のコミュニティ形成支援・健康増進活動等について」をテーマにグループに分かれ議論しました。

参加者からは「エアテントの設営方法を初めて学べて良かった。」「被災地のコミュニティ形成支援・健康増進について、復興期に何ができるのかを考えることができてよかった。」などの感想がありました。

各々が知識を出し合い、熱く議論を交わす場面もあり、新たな気づきを得る有意義な研修会となりました。



いのちと健康を守る赤十字活動は  
皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています。  
活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます  
口座記号番号:01110-0-1136  
口座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部  
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。

## 令和6年度兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会例会（第3学期）を開催

1月25日、兵庫県支部において令和6年度兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会例会（第3学期）を開催し、青少年赤十字加盟校3校からメンバー9名、指導者6名が参加しました。

午前中は炊き出しと救護倉庫の見学を行い、避難所での「衣食住」について学びました。

午後からは防災ゲーム・防災ボトルの作成に取り組み、災害発生時の適切な行動や防災対策について意識を高めました。

参加した生徒からは「防災・減災に対する意識が変わった」「災害時には周りの人と協力することが大切とわかった」「日赤の救護活動を知ることができた」という感想がありました。



## 令和6年度災害救援車引渡式を開催

2月17日、兵庫県支部にて芦屋市、丹波篠山市、養父市、丹波市、稲美町の5地区区分に対し、災害救援車引渡式を開催しました。

災害救援車は災害救護活動や赤十字活動の用途を目的として地区区分に配備しており、平時より救護資材や救援物資の搬送、赤十字活動の普及等、地区区分が行う活動に活用いただいています。

引渡式では生安事務局長より「安全管理に十分ご留意のうえ、今後も有効にご活用いただきたい」とお伝えし、引き続き赤十字活動へのご理解、ご協力をお願いしました。



## 令和6年度第2回評議員会を開催

2月20日、兵庫県支部にて令和6年度第2回評議員会を開催しました。開催にあたり、齋藤支部長が「近年、異常気象による災害が頻発、気候変動による人道危機が私たちの生活を脅かしています。そんな中、日本赤十字社は『苦しんでいる人を救いたい』という思いを結集し、医療事業や血液事業、救急法の普及、青少年赤十字の育成、ボランティア活動の支援などを通じて、安全で安心な暮らしを支えています。そして、今年で阪神淡路大震災から30年を迎えました。震災から得た教訓を大規模災害への備えとして、命を守る行動に繋げることが重要です。また、日本赤十字社は2027年に創立150周年を迎えます。私達は新たな人道課題に対応するため、多様な視点と柔軟な発想で役割を見直し、持続的に信頼される組織を目指します。4月13日から開催となる「大阪・関西万博」では、赤十字もパビリオンを展覧します。これを機に赤十字運動の更なる発展に努めたいと思います。」と、挨拶をしました。

この後、支部事務局長から令和6年度の事業報告があり、議案の令和7年度事業計画と歳入歳出予算、および代議員と理事の選出について審議が行われ、評議員の皆さまにご承認いただきました。

